



MORIOKA  
2023 笑顔の  
起点になる

～今と未来を生きる子供たちのために～

# 軌跡

～想いをかたちに～

2023年度 卒業記念誌



Junior Chamber International Morioka  
一般社団法人 盛岡青年会議所





一般社団法人 盛岡青年会議所

# 2023年度12月例会 卒業式

## 次 第

### ■ 2023年12月2日(土)

#### ●式典の部

盛岡グランドホテル 瑞雲

- ・開 会
- ・国歌斉唱
- ・JC ソング斉唱
- ・JCI Creed 唱和
- ・JCI Mission 並びに JCI Vision 唱和
- ・JC 宣言文朗読並びに綱領唱和
- ・東北 JC 宣言唱和
- ・卒業証書授与並びに卒業生スピーチ
- ・送 辞
- ・答 辞
- ・閉 会

#### ●懇親会の部

盛岡グランドホテル 飛龍

- ・開 会
- ・特別会員紹介
- ・理事長挨拶
- ・乾 杯
- ・歓 談
- ・記念品贈呈
- ・卒業生による企画
- ・若い我ら
- ・一発屋伝達式
- ・閉 会

# 目 次

1. JCI Creed・JCI Mission・JCI Vision	
JC 宣言・綱領・東北 JC 宣言 .....	2
2. 卒業生の皆さまへ贈る言葉 .....	3
3. 卒業生代表の言葉 .....	4
4. 卒業生プロフィール	
橋 本 敏 君 .....	5
佐々木 宏 和 君 .....	6
菅 洋 介 君 .....	7
中 村 沙 綾 君 .....	8
千 葉 潤 也 君 .....	9
細 川 翔 太 君 .....	10
小 倉 征 也 君 .....	11
岩 舘 尚 君 .....	12
川 村 芳 仁 君 .....	13
川 村 善 弘 君 .....	14
池 野 利 彦 君 .....	15
照 井 和 弘 君 .....	16
菅 原 直 紀 君 .....	17
高 橋 潤 君 .....	18
大和田 祐 輔 君 .....	19
藤 澤 平 君 .....	20



# JCI Creed

## The Creed of Junior Chamber International

### We Believe

That faith in God gives meaning  
and purpose to human life  
That the brotherhood of man  
transcends the sovereignty of nations  
That economic justice can best be won  
by free men through free enterprise  
That government should be of laws  
rather than of men  
That earth's great treasure lies in  
human personality and  
That service to humanity is the best  
work of life

### 我々はかく信じる：

「真理は人生に意義と目的を与え  
人類の同胞愛は国家による統治を超越し  
公正な経済は  
我々の自由な経済活動によってこそ果たされ  
政府には人治ではなく法治が必要であり  
人間の個性はこの世の至宝であり  
人類への奉仕が人生最大の使命である」

## JCI Mission

**To provide leadership development  
opportunities that empower young people  
to create positive change**

青年会議所は  
青年が社会により良い変化をもたらすために  
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する

## JC 宣言

日本の青年会議所は  
希望をもたらす変革の起点として  
輝く個性が調和する未来を描き  
社会の課題を解決することで  
持続可能な地域を創ることを誓う

## JCI Vision

**To be the foremost global network  
of young leaders**

青年会議所が  
若きリーダーの国際的ネットワークを先導する  
組織となる

## 綱領

われわれJAYCEEは  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者 相集い 力を合わせ  
青年としての英知と勇気と情熱をもって  
明るい豊かな社会を築き上げよう

## 東北JC 宣言

われわれは  
新たな価値を創造する旗手として  
尊い「結」の精神を呼び覚まし  
かつてない未来を切り拓くことを誓う



## 卒業生の皆さまへ贈る言葉

一般社団法人盛岡青年会議所 2023 年度

理事長 小野寺 数馬

一般社団法人盛岡青年会議所 2023 年度ご卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆様は、2023 年 12 月 31 日をもって盛岡青年会議所での活動が終わり、新たな旅が始まります。

私たちは、志が高く、尊敬と憧れを抱くことができる 16 名の皆様と同じ時間を共有し、喜びや痛みを分かち合いながら一丸となり市民意識変革運動を展開できたこと、共に学び成長できたことに、心から感謝と敬意を表します。

盛岡青年会議所は、長きに亘って修練・奉仕・友情の三信条のもと、組織や社会におけるリーダーシップを磨く機会、もりおかの繁栄に貢献できる機会、そして多くの仲間との絆を築く機会を提供し続けています。

皆様は青年会議所での活動を通じて多くの挑戦に立ち向かい、成し遂げてこられました。幾つもの事業構築を通じて自己成長を追求し、青年会議所の起こす運動だけでなく社業においてもご活躍され、もりおかに良い影響を与えてくれました。そして知人や仲間、生涯に亘って付き合える友を持つことが出来たのだと存じます。この経験は、皆様の人生において一生の宝物となるのではないのでしょうか。

卒業は新たな始まりでもあります。これからの人生で、皆様はますます多くの機会と挑戦に出会うでしょう。青年会議所で学んだリーダーシップ、フォロワーシップ、コミュニケーションスキルは、これから直面するすべての困難を克服するのに役立つと信じております。成功への道は決して簡単ではありませんが、皆様は十分な力を持っています。

また、青年会議所の卒業生である皆様はもりおかにおいて特別な存在です。若いリーダーとして、変化を起こす力を持っています。もりおかにおいて、あるいはより広いスケールで、皆様の存在が意義深いものとなります。常に使命感を持ち、一人ひとりの影響力を活かして地域から社会全体をより良い場所にしていくことを忘れないでください。

そして、最も大切なことは、確固たる自分自身であり続けることです。青年会議所での経験は一人ひとりを形作る一部ですが、自身の信念、価値観、夢も大切です。どのような時でも、自分自身を失わないようにしてください。

卒業生としての新たな旅路に向けて、一人ひとりが自信を持ち、勇気をもって進むことを願っています。困難が立ちはだかっても、皆様ならそれを克服し、新たな高みに到達するでしょう。成功と幸福が皆様の毎日を彩りますように。

“止まりさえしなければ、どんなにゆっくりでも進めばよい”

“この世界は素晴らしい。戦う価値がある。”



## 卒業生代表の言葉

2023年度 卒業生

照井 和弘

休日バイクにまたがり、1人で山をツーリングしていた。山の中腹で三叉路があり、足を止めた、どちらに行ってもそう変わりはない、いつもの自分なら癖で右を選ぶのだが、左を選んだ、少しの気がかりと異世界だったらという期待感、幼稚な心を微笑で片付け、駆け抜ける。目的地までの距離は右も左も変わらなかったとうっすらと地図は記憶している。すぐにまっすぐなトンネルに差し掛かる、暗いトンネルだ、出口は見えない、いつもと違う選択に後悔はしたが、スロットルを開け前傾し、回転計はレッドゾーンを指した。少しの不安感が周囲を覆う、反響するマフラー音が共鳴し孤独を埋めた、遠くに見える出口までの距離はまだわからない、不安による感覚の高まりか、自分の可能性と潜在能力が研ぎ澄まされていく感覚がおきる、バイクは加速をやめない、白い光に一瞬で包まれた時、レッドゾーンの向こう側には見た事のない景色が広がっていた。

多くのひととの出会いを通じて様々な機会に恵まれる中、精力的に頑張っただけでいい。悔やみきれない思い出たちは後悔のタイムアウトを迎え、充実感に満ちた思い出です。盛岡青年会議所には多くの出会いを提供していただき感謝いたします。

私たち 58 年生まれは盛岡青年会議所に入会した動機やきっかけは異なりながらも、「まちのため、自分の成長のため」という気概をもともと持った精鋭且つ、やさしさ溢れるメンバーです。40 歳になり卒業生が集うと、考え方は共感や同意が多い仲良しな集まりになるのかと思っていました。しかしそうではありません。様々な異なる機会の過程で成長した個々はさらに内に秘めた気概と価値観、多様性が一層増しています。「落ち着いた人」の集団になることを案じていましたが、そんなことは無く、40 歳でも議論が止まらない私たちは卒業を「ゴール」と捉えず、力を蓄えた後の「スタート」と捉えているのです。私たちは、卒業しても尚、まちのためという共通意識を持った仲間です。これからも私たちが精力的に頑張っていく中で、現役の皆さんにお会いすることもあると思います。その時はまた手を取り合い活動しましょう。「まちのため、自分の成長のため」その答え合わせが終わった 40 歳とは、これから個人であっても自信を持ち社会で実践していける「スタート」の歳なのだと思います。

青年会議所に入会していなかった自分を想像すると、今よりも良い生活をしてるんじゃないか、充実してるんじゃないかと、妄想の自分自身に追い抜かれてしまった感覚と不安を感じることもありました。しかし、卒業する今思うことは、その自分に追いつくこと、追い抜くことは、いとも簡単な事のように感じられ、不安や恐れは全くしてありません。最高の人生のまわり道をさせていただきました。

後悔無く、笑顔で卒業ができることに重ねて感謝申し上げます。今後も笑顔の起点は常に自分自身であることを誓い、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。





## 橋本 敏

会社名  
(有)橋本商店

### JCプロフィール

- '22 会員開発委員会
- '23 まちの未来創造委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生

### JCI 青年会議所活動を振り返って

私は入会以前から盛岡青年会議所に対し、尊敬・憧れの感情をもっておりました。

2020年に開催された盛岡青年会議所主催の異業種交流会に参加した際に、当時の現役メンバーの方と接し、青年会議所の事業構築の話をお聞きし、実際に入会したいと思っておりましたが当時はまだ子供が小さいこともあり、入会には至りませんでした。

その後コロナ禍となり、自分が担う組織運営に悩みもあり、自身の成長とコロナ禍で止まってしまった新たな人とのつながりを求め、青年会議所の組織運営・事業構築を学びたいと39歳になる年で迷いましたが、2022年7月に入会を決意しました。

意思決定したタイミングはギリギリで、池野利彦君と小倉征也君が迅速に動いてくれないと、入会できていなかったかもしれません。本当に感謝しています。

1年半ほどという短い活動期間で求めていたものは手に入りましたが、もっと早くに入会していたかったと後悔が残ります。

同期のみんなの活躍を現役の立場で見たかった一緒に活動したかったです。

あとは自分をもっと試したかったです。

いつも優しく声をかけてくださったOB先輩、現役メンバーの方々、大変お世話になりました。ありがとうございます。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

昨年の会員開発委員会、今年はまちの未来創造委員会としての会議・活動・例会・懇親会・ゴルフとどれも多くの学びがありました。

特に印象的な経験は、まちの未来創造委員会の4月事業です。

岩手ビッグブルズさんの協力を頂き、アリーナ・スタジアムによるまちづくりをテーマにした事業ではたくさんの一般の方々の参加を頂き、特にまちの未来を考える子供たちの楽しそうな表情が強く印象に残っています。



今後のまちづくりはどの地域でも課題であり、特に考えなければならない事の一つが持続性です。

まちに良いものを作ることも重要ですが、子供たちが未来を笑顔で考えられる環境を作っていくことがまちの未来の持続性につながっていくのだと考えるきっかけとなり、2023年度の地元の活性化事業構想の基となりました。

今後の社業の発展と地域発展に活かし挑戦していきます。

### JCI 現役会員へのメッセージ

会員開発委員会の皆さん私たちの卒業に向け尽力してくださりありがとうございます。

担当してくださった阿部周平君、夜遅くまでありがとうございます。

2023年度まちの未来創造委員会のメンバーの皆さんほとんど力になれずすみませんでした。ありがとうございます。

2022年同期入会の皆さんいつも楽しくさせてくれて、声をかけてくれてありがとうございます。

短い在籍でしたが関わってくださった現役メンバーの皆さんありがとうございます。

JCメンバーの方とまわるとスコアがいいんです。ゴルフ誘ってください。







## 佐々木 宏和

会社名  
(株)佐々花不動産

### JCプロフィール

- '22 会員開発委員会
- '23 次世代育成委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生

### JCI 青年会議所活動を振り返って

2022年に入会し、1年間の活動での卒業となります。

数字通りに早かったなと感じておりますが、そんな1年で卒業という私を受け入れていただいた盛岡青年会議所へは感謝しております。

同期のメンバーにも恵まれ、JC活動やその他でも定期的な飲み会やゴルフなど楽しい時間を共有でき、仲間に出会えて本当に良かったと思っております。

今年は次世代育成委員会のメンバーとして活動して参りましたが、事業での司会や動画作成など、普段の生活や仕事では行う事がない経験をさせていただきました。

事業の準備は仕事の合間を縫って行う事や、JCLームで深夜まで作業を行う事もありましたが、事業を成功させたいという思いの中、メンバーと同じ時間を共有する事でより良いチームになっていったと実感しております。

そんな経験をさせていただいた次世代育成委員会のメンバー、短い期間ではございますが関わっていただきました皆様にこの機会をお借りし感謝申し上げます。



子供達は純粋に相撲に向き合い楽しんでいたり、負けても次に切り替えていたり、同じチームの子に声援を送り時に励ましている姿を見て、私自身も気づかされる事や思い出される事、学ぶ事が多い事業となりました。



### JCI 現役会員へのメッセージ

皆様とほとんど歴が変わらないので大変恐縮ではございますが、私は盛岡青年会議所の活動をあまり理解せずに入会しました。

入会時は足が重く積極的な参加はなかった様に記憶しております。しかしメンバーである以上、迷惑をかけたくないという思いもあり、時間を作り少しだけ頑張ってみようという事で活動してまいりました。参加を重ね活動していく中で、意義や自分なりの楽しさを理解し、盛岡青年会議所での活動は私の中で価値のあるものとなりました。

入会した目的は皆様違うとは思いますが、ご自身のペースで盛岡青年会議所での活動を素敵な仲間と楽しんでいただきたいと思っております。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

わんぱく相撲についてあげさせていただきます。

盛岡場所では多くの子供達にご参加いただき、熱戦が繰り広げられました。

みんなが勝利のために本気でぶつかり、時に泣きながらも果敢に相手に向かっていく姿や負けた選手に手を差し伸べる姿に胸が熱くなりました。

また男子全国大会に帯同し両国国技館で応援した際も、他県の大きく強そうな相手選手が揃っている中、盛岡代表の子供達は臆することなく勇敢に戦っていました。







## 菅 洋介

会社名  
ロッシュマーノ

### JCIプロフィール

- '21 会員拡大委員会
- '22 広報戦略委員会  
わんぱく相撲プロジェクトチーム  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生  
会員開発委員会
- '23

### JCI 青年会議所活動を振り返って

2021年にカシオペア青年会議所から転籍してきたので、盛岡青年会議所には、3年ほどしかいませんでしたが、自分の中であったという間に過ぎ去ったなと感じる3年間でした。それだけ充実した時間を過ごせたのだと思います。仕事のこともあり、委員会や活動にはあまり参加できませんでしたが、同じ志の同志達と過ごせた3年間はかけがえのない宝です。JCありがとう。



青年会議所の活動に参加することが少なかったのですが、いくつか参加した活動ですごく楽しい時間を過ごすことができ、本当に良かったです。年の近い同志達が集まって、このような活動ができたのは、自分にとって宝です。

### JCI 現役会員へのメッセージ

青年会議所に参加させていただき、自分が見たことのない世界を少しだけ見ることができました。自分の視点を広げる大きなきっかけとなりました。どうしても自身の仕事を中心となると、視点が狭くなりがちですが、社会に出てこのような機会を得られる場所はそう多くはないのではないのでしょうか。私自身は、その機会を多く活かすことができませんでしたが、そのような視点からこれからも、活動を続けていただければと思います。皆様のより一層のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

私は、飲食店という事で、お店に来店していただくことも多く、逆に







## 中村 沙綾

会社名  
(株)ゴールドラッシュ  
エンターテインメント

### JCI 青年会議所活動を振り返って

私の入会は2021年9月、仕事の幅を広げたい。と思い、悩んだ結果入会してみることにしました。結婚し出産してから子育てに日々奮闘していたので、こんな私にこのような活動ができるのか？ 家庭と仕事、そして青年会議所の活動を両立できるのか？ 様々な不安を抱え、よくわからないまま委員会訪問をし、例会に出席し正会員になりました。一番初めの役割は卒業式の動画作成、例会セレモニーのJC宣言文朗読でした。まだ入会して1ヵ月、この人達は誰なんだらう?? 卒業式って何? 正直卒業生の顔も名前もわからないまま動画作成が始まりました。まともに

動画を作った経験もなく、プレッシャーの日々でした。そんな中委員会のメンバーや同期の方々から沢山のアドバイスをもらい何とか動画を作ることができました。今までは動画作成に挑戦する機会もありませんでしたが、新たな挑戦をしたことで自分自身のスキルアップにつながりました。娘の保育園の卒園式では動画作成を任せられ、自信をもって引き受けることができました。JC宣言も毎日料理を作りながら練習していたので、子供たちと一緒に覚えてくれ、いまだに完璧に覚えています。私がJC行ってくるね! という子供たちがJC宣言を朗読してくれます。(笑)



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

2022年わんぱく相撲プロジェクトチームリーダーの役を受け、2023年には次世代育成委員会の副委員長を受けました。このわんぱく相撲こそが私のJC活動に火をつけた事業となりました。相撲が特に好きなわけでも、自分の子供たちがスポーツをやっているわけでもありませんでした。クリスマスの夜に自宅でワインを飲んで酔っ払っていた時に電話があり「沙綾さんわんぱく相撲プロジェクトチームのリーダーやりませんか?」と、言われ、「相撲? いいですよ! やります! やります!」と、気軽に返事をしたことが後にこんなことになるとは思っていませんでした。今まで自分の子ども以外の為にこんなに真剣に考えたことはあったらうか? もっとこうすれば子供たちの心に響くのではないだろうか? 相撲や事業を通して様々な経験をさせてあげたい。JCの事業で初めて誰かのために何かをしたい! と思ったのがわんぱく相撲でした。そして全国大会に行くとJCってすごい! と感じました。それは全国各地のLOMが全国大会という



### JCIプロフィール

- '21 会員拡大委員会
- '22 会員開発委員会  
わんぱく相撲プロジェクトチーム リーダー  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '23 次世代育成委員会 副委員長  
岩手ブロック協議会 総務広報委員会

大舞台を選手と共にめざし、それが一カ所に集まり始めて全国大会になる。当たり前のことかもしれませんが、その大会を男子は38年前から、女子は4年前からずっと変わらず引き継いでいます。その伝統ある国技、わんぱく相撲に携われたことが私にとって誇りであり、とても貴重な経験となりました。



### JCI 現役会員へのメッセージ

私が青年会議所に在籍した2年3ヵ月。必死に駆け抜けた2年間でした。子供にかかわることが多く、沢山の可能性を感じ刺激を受けました。事業を通じて、JCメンバー以外の方々とも出会うことができました。喜びを分かち合い、時には悔しくて涙し、様々な物語がありました。たった2年間の短い期間でしたが必死に駆け抜けたからこそ見える世界があると思います。今思えば、子育てに奮闘し毎日があっという間に過ぎて、ただ何となく過ごしていた私が、誰かのために何かをしたいと夢を描けるようになりました。世の中に対して疑問を持って意見をし、こういうことをしてみたいと本気で語れる仲間もできました。大人になって社会に出てからたくさんの人と出会いましたが、ここまで本気で泣いて苦しんで悩んで、でもまた前を見て向き合っ、人間らしい感情を剥き出しにして話せる人たちに出会えたことはかけがえのない時間でした。自分の事にここまで時間を費やされたのは、支えてくれた家族がいて、ママかっこいい!! JC頑張っ! と送り出してくれた子供たちがいたからだ心の底から感謝しています。現役会員の皆様も家族に理解してもらえようなJCライフを送ってください。今までかかわってくださった皆様ありがとうございました。







## 千葉 潤也

会社名  
(有)二葉建設・カジュアル  
ダイニング HOME

### JCプロフィール

- '21 会員拡大委員会
- '22 次世代育成委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '23 JCブランディング委員会

### JCI 青年会議所活動を振り返って

JCには2021年に入会しました。入会の経緯は当時の会員拡大委員長の小倉君から、「この用紙に必要事項書いて、お金振り込んでおいて。」がきっかけでした。大変感謝しております。当時の田屋館理事長との面接で、大変緊張したのを昨日の事のように覚えております。JC活動を理解し、慣れ始めたところでの卒業となり大変寂しく思います。

入会しての3年間なかなか活動に参加する事ができず、所属させていただいた委員会の皆さんにはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。様々な方との交流は自分にとっての宝となりました。ありがとうございました。



後悔しています。みなさんは、後悔のないよう、楽しく頑張ってください。より一層のご活躍をお祈り申し上げます。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

JCでの主な活動がゴルフコンペへの参加でした。その中での異業種の色々な方との交流は、自分自身のプラスになりました。歳をとっても楽しく交流できるのがゴルフです。卒業後もみんなで行きましょう。



### JCI 現役会員へのメッセージ

現役会員の皆さん、JC活動への関わりは人それぞれだと思います。自分は今卒業を迎えてみて、もっと活動に積極的に参加すればよかったと







# 細川 翔太

会社名  
(株)ラックランド

JCプロフィール	
'20	会員拡大委員会
'21	JCブランディング委員会 岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生 会員開発委員会 副委員長
'22	組織拡大特別委員会
'23	JCブランディング委員会 岩手ブロック協議会 総務広報委員会 幹事

## JCI 青年会議所活動を振り返って

私の入会のきっかけは取引先からの紹介で、要するに会社指示でした。いわゆるサラリーマンJAYCEEであり、出張の多い私は委員会も例会も事業も仕事の都合とかがり遅参や欠席が多く、迷惑をかけたと思います。ですが参加するとそんなことはなく、いつも一緒にいる雰囲気です。JCはそんな場所でした。色んな人がいて色んな事を教えてくれ、経験させてくれました。私の仕事である建築業では経験することのない一眼レフの扱い方やインタビューに向けての台本作りや動画編集等、新しい世界が見えた気がして非常に楽しめました。こんな私でも副委員長の役を頂き、異業種同士の組織を経験できました。異業種同士の組織というのは非常に特殊で、それはただのサラリーマンでは経験することができないことです。「そんな時間なんてない」「早く卒業したい」「嫁になんて言い訳しよう」そんなことばかり考えている時もありましたけど… 結局のところ楽しんでたなあ。なんて思いますね。

酒癖悪いけど飲みに誘ってください。下手くそですけどゴルフ誘ってくださいね。ありがとうございました！



## JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

まずは、一般のサラリーマンでは接することのできない方々と出会ったことですね。緊張してアポを取る立場にいる人たちが身近にいて、私の意見も真剣に聞いて、意見交換できる。やはり経験値の高い方々の意見は面白い。ある程度営業職で頑張ってきましたが、色々な立場の方々の意見は勉強になりました。ここでしか経験できないことです。

また、本気になって物事を行う姿勢を見せてもらいました。やるからにはとことんやる。喧嘩してもいいから自分の意見をはっきり言う。同世代でこんなにもエネルギーを持った人がいるとは思って、良い刺激でした。これもまたこの組織でできる経験ですね。かと言って私はできてはおりませんでしたが、但し、タフにはなれましたね。日中仕事して、夜JC活動して、深夜まで飲む。そして、朝ちゃんと起きる。普通に生活をしていたら経験しないことです。全員で同じベクトル同じ方向を向く。生半可な向き方だとすぐに置いて行かれる。だから本気で向き合わなければならない。本気で向き合うと高濃度の達成感を味わえる。その後に飲む酒は美味しい。いい経験でした。(笑)

## JCI 現役会員へのメッセージ

「見る前に飛べ」私の好きな言葉です。会社指示で入会した時も、上手くもないプレゼンターを引き受けた時も、迷惑を掛けることを分かっているにも副委員長を引き受けた時も、欠席の可能性が高い岩手ブロックの出向を引き受けた時も、まあやってみようと思って受けてきました。入り込まなければ見れないものもあり、損する経験なんかなくて、むしろ経験しない方が損すると思います。私の後悔は自分の都合に負けたことだと思っています。それを払える度胸があればもっともっと多くの学びを得られたのではと。せっかく入会したからには後悔しない活動を、しかも自分の意見をしっかりと持って行うことが大事だと思います。とても難しいことですが、私はこの後悔を教訓として今後色々なことに向かっていきます。

現役会員の皆さんのことを心から応援しております。







## 小倉 征也

会社名  
(株)平野組

### JCI 青年会議所活動を振り返って

ただただ普通のどこにでもいる建設会社の営業マンとして、平和に時を過ごしておりましたが、社内の私の知らないところで、私をどこかの経済団体に加入させようという動きがあり、私の上司が藤村文昭先輩にご相談させていただいたところ「JCIの一択」すぐに結論ができて、私は2019年、突然入会することになりました。入会してからはよく分からない理解していないが業務命令の一環と捉え、仕事の予定が入っていないけれども出席することを心掛け活動を開始いたしました。JCIの予定というのは2、3ヵ月前に決まりますのでその結果、割と出席率高

を維持して、気が付いた頃には割と積極的な新入会員になっておりました。入会翌年2020年には、最高にカッコイイ宮野祐樹理事長から事務局次長を任命されました。少しですが同期のみんなが委員会配属になることが羨ましくもありましたが、宮野理事長と日影専務のお二人にはとても良くしていただき、大変楽しく過ごすことができました。2021年には会員拡大委員会の委員長ということで、JCIの醍醐味を実感できる素晴らしい役職を預けていただきました。コロナ禍と真ん中でありながらも青年会議所へ入会を決意するという人並外れた志高き23名との出会いは私の一生の宝物になりました。2022年は副委員長という縁の下の力持ち、または委員会のまとめ役のようなイメージでお引き受けしましたが、小野寺数馬委員長の類まれなリーダーシップのもとでは全く役立たずであったかもしれませんが、盛り上げ役として少しだけ貢献できたかと思っております。そして最後に2023年は監事として、客観的な視点を心掛け、私なりに真剣に向き合っていました。最後の最後までJCI活動を駆け抜けられる役職をいただいたことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました!!



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

社員同士でもなく、利害関係もない人間関係の中で見返りを求めない友情が育まれるのが青年会議所の良いところだと感じております。青年会議所に入会したことで、一人では何もできないことも理解することができました。2021年には会員拡大委員会の委員長の役にいただきました。担当常任理事の豊岡副理事長、山口室長にはたくさんの迷惑をかけながらも、同期委員長の佐々木委員長、沼田委員長、瀬川委員長、道下委員長や委員会のスタッフ、メンバーに支えられました。不甲斐ない私を助けようとする新入会員が能動的に活動してくれたことで、かけがえのない1年間を過ごすことができました。

### JCIプロフィール

- '19 組織開発委員会
- '20 事務局次長  
未来戦略特別委員会 幹事  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '21 会員拡大委員会 委員長
- '22 国際社会創造委員会 副委員長  
組織拡大特別委員会  
岩手ブロック協議会 事務局次長
- '23 監事  
公開討論会プロジェクトチーム  
岩手ブロック協議会 副会長



### JCI 現役会員へメッセージ

#### 侍JAPAN栗山監督(2023年)の名言

「できるかできないか以前に、やるかやらないかの選択しかなかった」  
青年会議所には本当に様々な経験をさせていただいたと思っております。人間として成長したかどうかはさっぱりわかりませんが、JCI活動を通じて自身の行動基準になりましたが、「できるかできないかではなく、やるかやらないか」栗山監督の言葉とは少し違いますが、私はこの言葉を非常に気に入っております。(※JCI遠野及川貴也君にかけていただいた言葉です)「考えてから行動」ではなく、「考えながら行動」のようなこのポジティブな発想がとてもしっくりくるのかなと感じております。JCI活動が「大変ですか？」と聞かれれば、正直に言うところ「大変です」でも、行動を起こしたからこそ「大変さ」にも気が付くし、得られる喜びや感動があると思います。やはり行動するかしないかが重要で、成功や失敗よりも行動することが大事だと訴えているところが、前向きな成果にもつながりやすいのではと思っております。是非、青年会議所でしかできないことにチャレンジしてみてください。







# 岩館 尚

会社名  
(有)駒龍

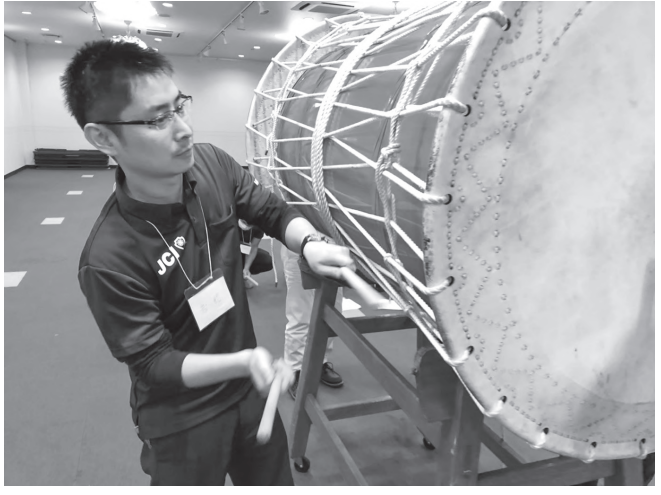
## JCI JC活動を振り返って

「あと何年?」、「あ~ちょうどいい位だ」JCに入って誰しもが耳にするフレーズかと思います。私の場合、2018年入会ですから6年前から常に諸先輩方から聞かされてきました。その間、様々な会員の仲間達と出会い、気が付けば自分が卒業の年を迎えることとなりました。今ではその様なことはないですが、少し前まで仕事の話はタブーな気配がありました。とても勿体ないことだと思います。せっかくこの盛岡で活躍する様々な職種の仲間が集う場所なので、新しい仕事の種に繋がる話は勿論のこと、既存の仕事についても色々な視点からの見方、考え方を入手して活かしていく方が有意義ではないでしょうか。実際に本業の方で相談を受けることもあり良かったなと思えました。これからも良い伝統は残しつつ、時代に合わせた考え方の変化を取り入れて柔軟な考え方で取り組んでいって欲しいものです。委員会活動でもたくさんの仲間達に助けられ今日を迎えることができました。この場をお借りして感謝申し上げますと共に、今後ともお付き合いのほどよろしくお願いいたします!



## JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

なんといっても盛岡さんさ踊りです。私自身JCIのさんさ踊りとは関係が深く、その昔ちびっこさんさがJCの先輩方で運営されていた頃、小学生だった私も3年間参加し、いつかは花車の太鼓を叩いてみたいと憧れたものでした。在籍中の2年間はさんさ踊りへの参加を運営する委員会とプロジェクトチームで活動させていただきました。実行委員会による説明会への参加、練習会の設定、夜間の花車の設営、ちびっこさんさとの連携等、実際パレードに参加する側だけでは見えない苦労が多々ありました。2022年にはまだ雪の残る時期からJCI盛岡の70周年事業の一環として太鼓を載せる台座廻りのリフォームにも携われ、これからまた何年かお祭りで活躍していくことを思うと、お祭りという無形のモノ



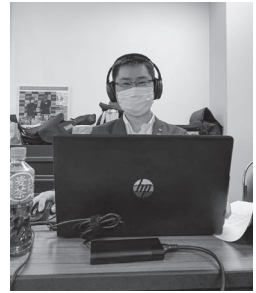
## JCIプロフィール

- '18 組織の力拡大委員会
- '19 地域開発委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '20 国際社会創造委員会
- '21 会員拡大委員会
- '22 会員開発委員会  
盛岡さんさ踊りプロジェクトチーム 副リーダー
- '23 休会

を、形として残すことができた年に参加できたことは大変記念になり嬉しく感じております。事業本番までに費やす時間が長い分、終了後の達成感、充実感は何の事業よりも濃く感じられるものと思います。昨年副リーダーとして携わせていただきました際には皆様に多大なるご助力を頂きまして有難うございました、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

## JCI 現役会員へのメッセージ

「信じてみなければ何も始まらない」  
正直なぜこんな無駄なことするんだろう?なんて面倒な手順を踏んでいるんだ?と思ったことも多々あります。それらはたしかに改善の余地があることで、個人の頭の中ではこういう形にしたいというイメージ像がなんとなく浮かんでいて、自分一人の事柄で解決する分には勝手に上手く修正するのですが、JC活動という集団活動での場合、一旦やってみて上手くいかないことを検証し、ダメであれば修正するという手順も社会勉強の一つとして重んじています。結果を焦って決して腐らないでください。もったいないです。ぜひ騙されたと思って、一度信じて一歩踏み出してみてください、結果本当に騙されたと思う時もあります。むしろそちらの方が多いかもしれません… ですが、その一歩が無ければ次のステージに進めないことも事実です。ぜひ恐れずにチャレンジしましょう!







## 川村 芳仁

会社名  
OYSTER STORY 牡蠣亭  
店主

### JCI 青年会議所活動を振り返って

私は、2017年に盛岡青年会議所に入会いたしました。入会当初は一人で事業を始めただけで事業主としても未熟なところがあり、自身の成長につながればという思いで入会を決意いたしました。入会してからは飲食店ということもあり、現役メンバーのみならず、噂を聞きつけたOB先輩方にも来店していただき飲食店を盛り上げていただき、自己成長と共に、さまざまな世代のJC関係者の方々と出会うことができました。しかし2020年より新型コロナウイルスが蔓延したことにより、事業の経営状況が悪化し活動を自粛することになりました。生きていく利益すら出せない中、憧れた人間に少しでも近づき、もう一度JC活動を堂々としたという思いから、飲食業以外の違う形の事業を構築し2022年には、まだコロナ禍ではありましたが、岩手ブロック協議会委員長の役割をお預かりすることができました。特にコロナ禍に私を応援してくれたのは、盛岡JCのメンバーでもあり、更には2017年入会の同期の仲間たちでした。盛岡青年会議所に入ることにより、この団体でしか感じるできない非常に強い結束力の仲間と出会えたことには感謝しかありません。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

この団体は、委員長という役職を受けることにより様々なことへチャレンジをさせてくれる団体です。2022年に岩手ブロック協議会の総務広報委員会へ委員長として出向した際には、若年層の政治参画向上事業という職務分掌があり、いわて高校生政策甲子園という事業を実施させていただきました。計画段階から多くの不備があったにもかかわらず、私の思いをつぶすことなく、常に建設的な議論をしていただき、事業実施にいたることができました。事業当日の発表前は不安そうな表情をしていた出場者の方々でしたが、発表後は、やり切った堂々とした顔を見て



### JCIプロフィール

- '17 会員拡大委員会
- '18 ひとの繋がり創造委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生事務局長
- '19 公開討論会プロジェクトチーム 幹事  
地域開発委員会
- '20 岩手ブロック協議会 総務広報委員会
- '21 次世代育成委員会
- '22 次世代育成委員会  
岩手ブロック協議会 総務広報委員会 委員長
- '23 監事  
JCI日本 国家グループ主権者意識向上委員会 副委員長

私自身、大きな感動と達成感がありました。

2023年に日本JCへVC出向した際には、第1回全国高校生政策甲子園という事業に携わらせていただきました。決勝大会の場として国会議事堂を使用することが叶いました。使用に対して審議をしなくてはならず、本来2年かかると言われておりましたが、議員の方を通し交渉していただき半年で使用の許可を取ることができました。日本JCでの活動は、常にスケールの大きいものとなり、日本JCに出向したからこそ貴重な経験となりました。

### JCI 現役会員へのメッセージ

盛岡青年会議所に入会し活動することにより、盛岡にたくさんの素晴らしい仲間ができます。OB交流会などに参加をすれば、たくさんのシニアクラブの方々と出会うことができます。しかし、そこで行動を終えてしまつたら盛岡広域圏のみのひとのつながりで終わってしまいます。JCには岩手ブロック、東北地区、日本JCと盛岡JC以外にも様々な地域のJCメンバーと出会う出向の機会があります。この機会は誰にでも平等であり、誰もがつかみ取ることができます。盛岡JCの現役会員であれば、自らが手を挙げるによりこの機会を受けることができます。私は出向という機会をいただき、全国に多くの一生の仲間を作ることができました。それぞれの地域の課題や解決策などを知るにより、盛岡で何か実施できることはないかと考える機会をいただきました。自身の成長こそが地域の発展や成長につながり、よりよいまちづくりへと寄与することだと思います。青年会議所に入会した時点で皆さんは大きな一歩



を踏み出しています。仕事や家庭環境が許されるのであれば、自分で限界を決めず、できる限り背伸びをし、このような機会をつかみ取っていただきたいと思います。

卒業後は、JCで学んだものを生かして出会った方々を頼りに、私なりにより良いまちづくりをしてまいります。







## 川村 善弘

会社名  
川村商事(有)・(有)すノ家商事

### JCプロフィール

- '16 会員拡大委員会
- '17 会員開発委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '18 ひとの繋がり創造委員会
- '19 国際社会研究委員会
- '20 次世代育成委員会
- '21 国際社会創造委員会
- '22 地域開発委員会
- '23 国際社会研究委員会







## 池野 利彦

会社名  
株式会社津屋本店

### JCI 青年会議所活動を振り返って

「出会いと成長の場」  
私が2019年の入会案内書を作成したときに使ったキャッチフレーズです。  
今、自分自身を振り返っても青年会議所の活動を通して、刺激的な仲間と出会い、数々の経験から成長する機会を得ることができたと強く感じています。

もし、青年会議所に入会していなかったら、どのような人生、どのような自分になっていたのかと考えることがあります。間違いなく、今よりも利己的な人生を歩んでいると容易に想像がつきます。時には、何故これをやる必要があるのかと疑問に思うこともありましたが、損得勘定を抜きに、青年会議所の活動に向き合う素晴らしい仲間と切磋琢磨できたことは、自分の視野と可能性を広げ、自身の人生を豊かにしてくれました。

この場をお借りして、私と関わっていただいた全ての皆様に、心から感謝を申し上げます。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

青年会議所は単年度制であり、毎年新たな組織体制のもと、異なる役割と役割を担うことのできる特殊な団体です。卒業年の本年、私はプロジェクトチーム リーダーとして、盛岡市長選挙立候補予定者公開討論会の開催を任せていただくこととなりました。

4年に1度の継続事業ということもあり、次回以降も見据えたチーム運営を心掛けました。私同様、政治への関心が高いとはいえないメンバーとともに目的達成に向かって、事業構築できたことは、彼らの自信にもつながったのではないかと思います。リーダーである私としては、若いメンバーがポジティブチェンジし、成長する姿を間近で見られたことは、とても思い出深い経験です。

また、これまでも委員会運営を何度か行い理解していたつもりでしたが、あらためて1人でできることには限りがあり、他者の協力をなくしては実現できないことも再確認しました。

青年会議所の運動は、よく「ゴミ拾い」に例えられます。私たちがゴミを拾うのではなく、市民にゴミを拾ってもらえるように促したり、ゴミを捨てさせないようにしたりすることが、市民意識変革運動を推進する青年会議所の重要な役割です。実際にそれと同じようなことを体系立て、事業構築から検証に至るまで一連の流れを反復練習できたことは、私にとって大きな財産となりました。



盛岡最高！！  
しんみの数だけ 幸せがある。  
サマーイベントフェスティバル2022  
SUMMER CONFERENCE

### JCIプロフィール

- '15 会員拡大委員会
- '16 未来構想委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生事務局次長
- '17 JCプランディング委員会 副委員長
- '18 組織開発委員会 委員長
- '20 ビジネス創造委員会  
未来戦略特別委員会 副委員長  
東北地区協議会 東北ゼミナール委員会
- '21 常務理事  
未来構想特別委員会
- '22 副理事長  
わんぱく相撲プロジェクトチーム  
創立70周年実行委員会  
組織拡大特別委員会
- '23 副理事長  
公開討論会プロジェクトチーム 委員長

### JCI 現役会員へのメッセージ

入会して間もない頃、先輩が話してくれた「JCI活動をしっかりできない者は、仕事でも成果を生み出せない」、「JCIも仕事と同じくらい本気で取り組むべきでは」という言葉を、今でも覚えています。しかし、十分な活動をしたくても、それぞれの事情を抱えているメンバーもいるので、その言葉の解釈は十人十色あって良いと思います。

ただ、私がこれまでの経験と学びから伝えたいのは、可能な限り青年会議所の活動に参加し、自分を磨いて、自分という器を拡張していただきたい。成果がすぐに出るかは個人差があると思いますが、平等に与えられる機会を自分自身でつかんでください。可能性に蓋をしないでください。お金と時間をかける分、背伸びしてチャレンジしてみてください。時代の変化とともに青年会議所の在り方も少しずつ変わってきていますが、「修練・奉仕・友情」の3信条のもと、もりおかを形成する当事者として、笑顔の起点になれるよう、皆様のこれからの益々のご活躍を期待しております。







## 照井 和弘

会社名  
照井商事(株)



### 青年会議所活動を振り返って

私が入会を決める時のことです。ある先輩から青年会議所とは、どのような団体なのかを教わりました。「ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨けない様に、人も人でしか磨くことができない、自分を磨きたいなら入会し、集まりがあればできる限り参加し、人と接しなさい」この言葉が私の原動力となり、とにかく時間を作っては青年会議所活動に参加してきました。最初は役職や役割を受けることが怖く、断ってばかりいました。断る割に、いつも参加していたので「あいつはいるだけの人」と悪口を言われることもありました。今思うとそれは悪口ではなく、まさに人の中で磨かれる機会の提供であり、私が重い一歩を踏み出すきっかけになったのだと思います。



### 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

入会から3年目、日本青年会議所に出向し、日ロミッションに参加させていただきました。もちろん事業の中から学ぶことも多々ありましたが、私のポジティブチェンジはメンバーとの関りによるものでした。今まで出会ったことのない、スケールの大きい人ばかりが集っていて、大使館のアポ取りを気軽に電話する姿、OBの方々へのおもてなしの為に気軽に何度もロシアへ現調に行くフットワーク、酒癖の悪さを直す気すら



### JCIプロフィール

- '15 会員拡大委員会
- '16 会員拡大委員会 幹事  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生  
会員開発委員会
- '17 JCI日本 世界の中の日本確立委員会
- '18 ひとの繋がり創造委員会 委員長
- '19 国際社会研究委員会  
岩手ブロック協議会 総務広報委員会
- '20 国際社会創造室 室長
- '21 地域開発室 室長
- '22 副理事長  
創立70周年実行委員会  
JCI日本 経済グループスポーツの力委員会  
東北地区協議会 広域連携グループネットワーク構築委員会 委員長  
岩手ブロック協議会 出向役員
- '23 監事  
公開討論会プロジェクトチーム

ない素直な傲慢と強欲さ、酒は朝まで飲むのに次の日の事業は完璧にこなせるスーパーマン、自分には無い圧倒的なパワフルさに触れ、社会の広さ、多様さを学び、自分が目指すべき姿をうっすらと描くことができました。



### 現役会員へのメッセージ

青年会議所はひととの繋がりによる自己成長の場であると思います。毎年の配属替え、出向の機会、得られるものはひとそれぞれなので、これと明言はできませんが、自分の行動の善悪は表裏一体で自分に返ってきます。人との関りで嫌なことは、理解できない多様性に触れている状態とも解釈できます。悪口を言う仲間を作るのは元から持っている習性であり、なんら学ぶものはありません。自分とは違う人、理解に苦しむ人と積極的に交わって自分の見地を広げていければ、集団と個人、両方の成長に繋がるのではないのでしょうか。踏み出す勇気と巻き込む力でより強い盛岡青年会議所を創っていきましょう。







## 菅原 直紀

会社名  
(一社) スポーティブ岩手

### JCI 青年会議所活動を振り返って

2015年に入会し8年間の青年会議所活動を経て、様々な人たちと出会い、触れ合う中で、多くの刺激を受けてきました。最初は右も左も分からず、仕事との両立の中で、少しでも自己成長に繋がればと委員会や事業に参加しましたが、只々周りの先輩たちの能力の高さ、志に圧倒され続けたことを覚えています。「こんな人になりたい」「なぜ今自分はこの団体に入っているんだろう」様々な感情を抱き活動していく中、卒業を迎えることが出来たのは青年会議所で出会った仲間の存在がとても大きいです。この仲間は生涯の財産といっても過言ではございません。一時は三信条の友情さえあればと考えることさえありましたが、今振り返ると修練・奉仕があったからこそ友情があると考えが変わりました。だからこそこの団体でしか得れない機会や出会いが魅力なのだと思います。入会した当初に抱いた凛々しい先輩たちの姿に私は少しでも近づけたのか自問自答しながら新たな道を歩んでいきます。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

背伸びをしながら活動し、特に学びが多くあった委員長の経験。議案と向き合う中で一番重要なのは背景・目的であるということ、つまり、課題設定力について学びました。手法というのはその気になればいくらでもあると思います。しかし、正しい課題を設定しなければ、目的や手



### JCIプロフィール

- '15 会員拡大委員会
- '16 未来の担い手スポーツ推進委員会 幹事  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '17 地域交流委員会
- '18 組織の力拡大委員会 副委員長
- '19 社会研究委員会  
公開討論会プロジェクトチーム
- '20 JCブランディング委員会  
いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾幹事
- '21 次世代育成委員会 副委員長
- '22 地域開発委員会 委員長
- '23 国際社会創造委員会  
公開討論会プロジェクトチーム  
岩手ブロック協議会 連携推進委員会

法は決して効果的にはならないということです。常に「誰のために？ 何のために？ なぜ？」というキーワードを自分に問いながら正しい課題を設定し今後は新たなステージで更に成長をしていきます。

### JCI 現役会員へのメッセージ

「何をやったか」ではなく「何を目指したか」が大切だと私は思います。無論、活動をしていく中でたくさんの学び、成長を得ることが出来ると思いますが、目指すものが明確だと得られる成長の質も高い。限られた時の中で、たくさんの機会や出会いがあるこの団体だからこそ、より考え思考が研ぎ澄ませるものだと思います。活動していくうえで、理不尽なことや辛い事、悩みや不安も多々あると思いますが、それがあから意味があります。苦難を乗り越えた先に更なる成長がある。目指すべき自分の姿を考えるととても貴重な時間を大切に、実践して学び、「濃厚かつ充実した時間が過ごせた」と実感できる日がくることを切に願っております。皆様の更なるご活躍を期待しております。







## 高橋 潤

会社名  
(株)コスモ通信システム

### JCI 青年会議所活動を振り返って

JC活動を振り返るにあたり、JCに入っていないならば、どんな40歳になっていたのかを考えましたが、まったく想像できませんでした。それほどJC活動を通じて得た経験や学びが、私の人生に深い影響を与えているのだと感じます。

2014年からJC活動が始まり、分からないことだらけだった私は、周りが見えず、自身の想いが強すぎるあまり先輩たちに噛みついてばかりでしたが、組織を運営する立場に近づくにつれ、自身の視野の狭さ、考えの甘さや未熟さを感じました。先輩方に「ポコ潤」と言われていたのはそういう事だったのかと気付いたのは最近のことです。「ポコ潤」というあだ名に愛着を持っていた自分を恥ずかしく思います(泣)。

そのような私が、これまで活動することができたのは、様々な能力や価値観を持つ人々と尊敬する人々に出会えたからです。JCには愛情をもって接してくれる仲間が多くいます。どんなに厳しく難しい状況であ



っても、自分の時間を割きながら叱咤し、納得のいくまで討論し、時折鉄拳制裁もありましたが、トコトンまで共に悩み考え、笑い合える時間があつたからこそ、一生続く仲間ができる組織なのだと思います。多くの仲間と幸せな時間を過ごせたこと、私にとって一生の財産となりました。ありがとうございました。

### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨かれないように、人は人でしか磨かれないといわれます。自己成長を求めるならば、出向という手段もぜひ活用してください。JCの醍醐味は出向という仕組みがあることだと思います。出向したいと思ってもその時の状況などによって決まってしまうので、巡り合わせが強いですが、機会があれば掴み取ってください。私自身、出向経験は2回と多い方ではありませんが、2019年の東北ゼミナールと2021年にJCI日本にVCとして出向した先での出会いは、LOMとはまた違った刺激を感じさせて頂きました。知識も考えも勢いも経済的にも化け物じみた日本全国の猛者たちと合意形成を図ることは、自身の常識がどれだけ狭い範囲であったのかを気づかせてくれます。そのような出会いと気づきを頂いた方々始め、盛岡青年会議所には感謝しかありません。誠にありがとうございました。



### JCIプロフィール

- '14 会員開発委員会
- '15 会員拡大委員会 幹事  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '16 ひとの繋がり創造委員会 副委員長  
未来特別委員会
- '17 事務局長
- '18 まちの未来創造委員会 委員長
- '19 社会研究委員会  
公開討論会プロジェクトチーム  
東北地区協議会 東北ゼミナール委員会
- '20 ビジネス創造室 室長
- '21 地域開発委員会  
JCI日本 地域グループ質的価値創造会議 副議長
- '22 専務理事  
わんぱく相撲プロジェクトチーム  
盛岡さんさ踊りプロジェクトチーム  
創立70周年実行委員会 委員長  
組織拡大特別委員会 委員長
- '23 副理事長  
組織拡大特別委員会 委員長  
第48代一発屋

### JCI 現役会員へのメッセージ

人生最後の学びと言われる組織に10年間に籍させていただきました。勉強が嫌だと言って学校へ行くに行かなかった私が、10年という月日をJC活動に関わることができたのは、楽しいことも、辛いことも一年という周期で終わりを迎え、毎年、常に新しい刺激に満ち溢れ、ワクワクできたからであると思います。

皆さんはJC活動を楽しんでいますでしょうか。40歳の卒業を悔いなく迎えることができますでしょうか。私自身、悔いがないかと聞かれれば…山ほどあります。悔いなく卒業していく先輩たちと今の自分を比べて、その違いは何か？と考えたとき、志を持つか持たないかではないかと思えます。志が残る時は決まって志を忘れていくときや迷いがあるときでした。志を持って活動する人のパフォーマンスは大きく、影響力も絶大です。社会において成功をなす方々にも共通していることではないかと思えます。

JCは社会の縮図であり、個人においては人生の縮図だと感じます。JCの最後に楽しかったと言える人は、人生の最後にも楽しかったと言えるのではないのでしょうか？そういった意味では私にもまだまだ伸びしろがあると思っています。皆さんも最後にやりきったと言えるよう、志を持ってJC活動をしてください。その先には必ず明るい未来があります。

皆様の今後の活躍を期待しております！





## 大和田 祐輔

会社名  
田中電子(株)

### JCI 青年会議所活動を振り返って

2013年に入会し11年の活動期間、私の30代は常にJCと共にありました。もし、青年会議所に入会していなかったら、どのような40歳になっていたのか、どのような自分になっていたのかと考えることがあります。会社の往復と趣味に時間を使い、居心地の良い環境に身を置いていたと思います。青年会議所は、地域のために常に利他の精神で考えて行動を続け、人間力を養い育てることが出来る唯一無二の団体です。決して自分一人では成し遂げられないことも、信頼し合える仲間と一緒にあれば、その過程にどんな困難が待ち構えていたとしても乗り越え成し遂げられることを、私は青年会議所の仲間から学びました。居心地の良い環境から自らの意志で一歩踏み出し、地域の課題と真剣に向き合う行動を起こすことで、仲間と共に成長を遂げることは青年会議所の最大の魅力であり、自らを成長させることは地域に対する貢献に繋がると確信しています。長いようで短かった11年間でしたが、入会して本当に良かったと実感しております。JCを通じて出会えたすべての皆様に感謝申し上げます。



### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

これほどまでに自身を成長させてくれる団体は他にないと思います。それくらい青年会議所は様々な機会を私に提供してくれました。「できるかできないかではなく、やるかやらないか」と先輩方に言われたことを思い出します。事業を構築するにあたり目的を定め、その目的を達成するために努力することはもちろんですが、どのような状況下においても目の前のことに真摯に向き合い、諦めない気持ちをどれだけ強く意識し取り組むことが必要であるかを学ばせていただきました。そして、非力で未熟な私でも青年会議所で出会った仲間の支えがあったからこそ成し遂げられたことが多々ありましたし、その結果自身の価値観や視座を上げてくれる貴重な経験をさせていただきました。改めて「もし青年会議所に入会していなかったら、今の自分はどのような人間であったか」と考えるとぞっとします。入会したことで出会った多くの仲間からの支えや刺激によって自身の成長に繋がったことは断言できます。



### JCI 現役会員へのメッセージ

私が入会した時と今とではJCもだいぶ変わったなと感じます。入会当時の返事はYesかハイかダーのみ。会議の時間も回数もエンドレスで、

### JCIプロフィール

- '13 会員拡大委員会
- '14 地域のネットワーク創造委員会 幹事  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生  
事務局長
- '15 未来の担い手スポーツ推進委員会
- '16 東北地区協議会 事務局次長
- '17 会員開発委員会 委員長
- '18 JCIブランディング委員会  
組織進化特別委員会
- '19 組織開発委員会  
公開討論会プロジェクトチーム  
岩手ブロック協議会 総務広報委員会 委員長  
常務理事
- '20 未来戦略特別委員会
- '21 専務理事  
未来構想特別委員会
- '22 理事長  
わんぱく相撲プロジェクトチーム  
盛岡さんさ踊りプロジェクトチーム  
創立70周年実行委員会  
組織拡大特別委員会
- '23 直前理事長  
組織拡大特別委員会 副委員長  
公開討論会プロジェクトチーム  
JCI日本 国家グループ主権者意識向上委員会  
東北地区協議会 会務担当 副会長  
岩手ブロック協議会 出向担当役員

事前に理由も教えられず、理由を聞こうものなら「やればわかるからまずやれ！」との返答が返ってきて、時には頭を叩かれることもありました。近年では時代に即して組織改革も進み、多様な環境下においても誰もが参加しやすいスマートな組織になりました。ですが、それで本当に良い組織と言えるのでしょうか。答えはノーだと思います。なぜなら組織の環境を整える以前に、自分自身をどんな環境に置くかが最も重要だからです。居心地の良い環境から自らの意志で一歩踏み出し、恐怖や痛みを克服する事こそが発展や成長に直結するのです。私が入会した頃に比べ、修練という言葉が聞かなくなりました。修練という言葉調べると、「人格・学問・技芸などが向上するように、心身を厳しく鍛えること。」と書いてあります。もがき、抗い、がむしゃらになんてもう時代に即してないのかもしれませんが。理不尽や不条理の先に答えがあるなんて言ったら何を言っているのだと軽蔑されるかもしれません。ですが、それが現実だったりします。とある先輩から言われた好きな言葉があります。「倒れるときは前から倒れる！」人にやさしく、誰もが活躍できる環境を整えながら、自分に厳しく、いつまでも情熱を持って果敢に挑戦するそんな自分でありたいし、そんな生き方の先により良い未来があるのだと私は信じています。







## 藤澤 平

会社名  
(株)ふじさわ エヴァホール

### JCI 青年会議所活動を振り返って

2009年に入会してから15年。その間に、同期の方たちは早くに卒業し、後から入会した方たちも次々と卒業していきました。久しぶりに会えば「あと何年？」と聞かれ、毎年の年賀状には「卒業うらやましいです」とメッセージを書き添えてきましたが、私も晴れて卒業の日を迎えることができます。

15年を振り返るには、期間があまりにも長いので、1年ごとにまとめました。(各年の所属先はJCプロフィールと重複するため割愛します)



#### ◆「ひらべったいらー」の 薄い15年史◆

- 2009年…緊張の連続。ただいだけなのに緊張した。
- 2010年…委員会終わりと委員会打ち上げでやったボードゲームが楽しかった。
- 2011年…まさかの3年目での幹事。
- 2012年…15年の中で一番大変だった委員会。それだけです。
- 2013年…副委員長なのに、委員長がほとんどやってくれた1年。
- 2014年…委員長が途中でいなくなる。
- 2015年…委員会終わり、とある場所でのファミコン大会。
- 2016年…当時の理事長からLINEで一文「委員長よろしく」拒否権がなかった。(1年間)
- 2017年…メンバーとオンラインゲームにハマる。
- 2018年…委員長抜きで、委員会メンバーと仙台で楽天の試合を見た。
- 2019年…担当例会当日にドタキャン。本当にごめんなさい。
- 2020年…コロナ禍でJCIに出なさ過ぎて、新入会員と同じ空気感になる。
- 2021年…13年目にして初めて新入会員を紹介する。
- 2022年…少数精鋭部隊で乗り切る。
- 2023年…ご意見番として委員会出席するが、逆にご意見される。



### JCプロフィール

- '09 会員拡大委員会
- '10 情報戦略実践委員会  
岩手ブロック協議会 いわてJAYCEEアカデミー委員会 塾生
- '11 リーダーシップ開発委員会 幹事
- '12 未来創造委員会
- '13 総務広報委員会 副委員長
- '14 グローバルネットワーク委員会
- '15 地域のつながり創造委員会  
岩手ブロック協議会 事務局次長
- '16 総務広報委員会 委員長
- '17 地域交流委員会
- '18 まちの担い手育成委員会
- '19 地域開発委員会
- '20 会員拡大委員会
- '21 会員拡大委員会
- '22 地域開発委員会
- '23 JCブランディング委員会

### JCI 青年会議所活動でしか経験できなかったエピソード

#### 『盛岡さんさ踊り』

盛岡にいたら経験するであろう伝統行事ですが、私は盛岡で生まれ育ったにも関わらず、子供の頃からさんさ踊りに出ることもなく育ちました。観に行っただけの数回程度です。盛岡JCIに入ってから参加するようになりました。

入会した年は、花車の上で大太鼓を叩きました。初めての経験でとても緊張しましたが、周りの先輩方にサポートしていただいたことで「これから一緒に活動していくのだ」という仲間意識を持つことができました。翌年からは腹太鼓に挑戦し、本番までに自主練習をかなりしました。その甲斐あって、達成感が得られました。

腹太鼓を習得できたことで、一つのことをやり遂げることの自信にもつながりました。

### JCI 現役会員へのメッセージ

15年間の経歴を見てもお分かりのように、私は、今まで常任理事以上の役に就くこともなくJC活動をしてきました。それでも15年の間で、異業種の人たちにたくさん出会い、JC活動はもちろんですが、JC活動以外にも様々な交流ができ、とても楽しかったです。

理事の役を引き受けることで、より多くのメンバーと接するので、交流の幅が広がります。しかし、仕事との両立もあると思うので、役を引き受けることが難しい場合は、日々の活動の中で小さいことでも良いので、自分のできそうなことから少しずつ取り組んでみてください。例えば、フロアメンバーとして委員長を支えたり、自分の担当事業以外の事業に参加したりすることで、自分なりにJC活動に関わることができると思います。

皆さんが卒業を迎える時に心残りが無いように、JC活動を楽しんでください。











2023年度 卒業記念誌